



習志野市長
宮本 泰介

【プロフィール】

昭和 48 年 1 月 19 日生まれ
習志野市屋敷 3 丁目出身・在住

【経歴】

習志野市内の病院にて出生
習志野市立屋敷幼稚園卒園
兵庫県西宮市立甲東小学校卒業
習志野市立第六中学校卒業
八千代松陰高校卒業
秀明大学政治経済学部卒業

平成 11 年 5 月～平成 23 年 4 月
習志野市議会議員（3 期・12 年間）
※第 28 代習志野市議会副議長
平成 23 年 4 月～現在
習志野市長（3 期・11 年目）

【趣味】

野球、ゴルフ、海釣り、富士登山

「未来のために

～みんながやさしきでつながるまち～

習志野」

昭和 29 年 8 月 1 日、千葉県で 16 番目の市として誕生した習志野市は、面積は県内 37 市で 2 番目に小さいながらも約 17 万 5 千人が生活をする人口密度が県内で 3 番目に高いコンパクトなまちです。

このような規模のメリットは、市全体を議論する会議でもマイクを使わずに議論でき、何かあった時にも小回りよく駆けつけることができ、市民一人ひとりの顔が見えることです。

昭和 45 年に制定したまちづくりの基本理念「文教住宅都市憲章」に基づき、都市と自然が調和したまちづくりを目指し、地元を愛する市民と共に歩んでまいりました。そして、特長ある教育や子育て、盛んなスポーツ活動、心躍る音楽、活気あるイベント、身近な自然環境、地域防災力・防犯力といった伝統が育まれてきました。

県内初となる核兵器廃絶平和都市宣言、日本初となる谷津干潟ラムサール条約登録、国内でも先進的な取り組みであるこども園の設立や公共施設再生計画の策定など、全国的に先駆けた取り組みを意欲的に行い、明日に向かって新しいまちづくりの音がハーモニーとなって今日も響いている「あしたの和声（ハーモニー）が響くまち」でもあります。

時代の変化とともに伝統を重んじながら改革を進め、いつまでも「住んでみたい、住み続けたいまち」として選ばれ続ける持続可能なまちづくりを目指してまいります。

市政運営の原動力は職員です。

豊かな市民生活を実現するためには確固たる基盤が必要です。

その原動力は職員です。結束力が発揮できるコンパクトな街・習志野で、ダイナミックな仕事にチャレンジしよう！